MITSUBISHI ELECTRIC

お願い
適用機種を必ず確認し、誤使用のないようにお願いします。

三菱電機 ビル・店舗用 エアコン別売部品 自動昇降パネル 自動昇降ムーブアイパネル

形名

CMP-P45ALWHG5
CMP-P71ALWHG5
CMP-P140ALWHG5
CMP-P45ALWEG5
CMP-P71ALWEG5
CMP-P140ALWEG5

取付・取扱説明書

もくじ

■ 取付説明

1. 取付け上のお願い……4
2. 構成部品……4
3. 制御箱の取付け……4
4. 自動昇降パネル取付前の準備……7
5. 自動昇降パネルの取付け……8
6. オートベーンの配線接続……9
7. ムーブアイの配線接続（CMP-P･ALWEG5 の場合）……9
8. ムーブアイ天井高さ設定……10
9. 昇降パネル制御箱の配線接続……10
10. アース線の配線（P140 形パネルのみ）……10
11. サービスパネルの下降位置設定……11
12. ワイヤードリモコン（PAR-38MA）の機能設定（PL-RP・LA 形のみ）……11
13. 配線図メイバンの貼付け（ワイヤード仕様）……11
14. 自動昇降パネルの固定……12
15. サービスパネルの取付け……13
16. 自動昇降パネルの収納……13
17. オートベーン、自動昇降パネルおよびムーブアイの動作確認……13
18. 風の吹き分け方法……14
19. 応急時のサービスパネルの固定について……14
20. 電気配線図……15

■ 取扱説明

1. 使用上の注意……17
2. 各部の名前……18
3. ワイヤレスリモコン（昇降パネルリモコン(別売)）の取扱い……18
4. サービスパネルの昇降操作のしかた……19
5. 清掃のしかた……25
6. 応急昇降について……25
7. 「故障かな？」と思ったら……26
8. 保証とアフターサービス……27

WT08571X04

■ 取付説明

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般禁止）

（接触禁止）

（ぬれ手禁止）

（発火注意）

（感電注意）

（一般指示）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警告

電気配線工事は、法令に基づく資格のある電気工事業者に依頼し、「第一種電気工事士」の資格を有する者が行う。（第二種電気工事士は電気工事士法で認められた範囲のみ対応可）

一般事項

⚠ 警告

特殊環境では、使用しないこと。

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食によるけが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

使用禁止

改造はしないこと。

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

⚠ 注意

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

使用禁止

フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。

- フィルターの自重降下、落下によるけがのおそれあり。

禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- 運転停止から５分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。

禁止

部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。

接触禁止

運搬・据付工事をするときに

⚠注意

梱包に使用している PP バンドを持って運搬しないこと。

- けがのおそれあり。

運搬禁止

20kg 以上の製品の運搬は、1 人でしないこと。

- けがのおそれあり。

運搬禁止

取付作業をするときに

⚠警告

梱包材は破棄すること。

- 窒息事故のおそれあり。

指示を実行

販売店または専門業者が取付説明書に従って取付作業を行うこと。

- けが・感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行

電気工事をするときに

⚠警告

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。

発火注意

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。

発火注意

電気工事をする前に、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。

感電注意

電気工事は第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および取付説明書に従って行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- 電源回路容量不足や施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

移設・修理をするときに

⚠警告

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。

- 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

お願い

エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

- ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

1. 取付け上のお願い

適用機種を必ず確認し、誤使用のないようにお願いします。

<1> 形名、適用機種

本別売部品は下記本体が必要です。

形名	適用機種
CMP-P45ALWHG5（自動昇降パネル） CMP-P45ALWEG5（自動昇降ムーブアイパネル）	PLFY-P22 ～ 45LMG4 以降 PL-RP40LA13 以降
CMP-P71ALWHG5（自動昇降パネル） CMP-P71ALWEG5（自動昇降ムーブアイパネル）	PLFY-P56,71LMG4 以降 PL-RP45 ～ 80LA13 以降
CMP-P140ALWHG5（自動昇降パネル） CMP-P140ALWEG5（自動昇降ムーブアイパネル）	PLFY-P80 ～ 140LMG4 以降 PL-RP112 ～ 160LA13 以降

<2> 制約事項

※外気取入ダクトフランジ、多機能ケースメントとの併用はできません。

2. 構成部品

本別売部品には下記部品が同梱付属されておりますので取付け前に確認してください。

自動昇降パネル	制御箱	パネル取付ネジ		PTT ネジ	トラスネジ5×60
1 個	1 個	2 本（長）	2 本（短）	45・71 形パネル：6 本 140 形パネル：3 本	2本 （140形パネルのみ）

プレート BR	ワイヤーサドル	結束バンド	ワッシャー	リード線① （短：コネクタ 9P シロ/7P クロ）
4 個 （45･71形パネルのみ）	4 個	45･71形パネル :3個 140形パネル :5個	2個 （140形パネルのみ）	1 個

リード線② （長：コネクタ 3P クロ）	操作ラベル	配線図メイバン
1 個	1 個	本体形名 PL 形用：1 個 本体形名 PLFY 形用：1 個
45 形 ：1200mm 71 形 ：1400mm 140 形 ：1900mm	お願い	電気配線図

※ネジ、結束バンド類の小部品の数に予備は含まれていません。なくさないで下さい。

3. 制御箱の取付け

電気工事をする前に、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。

感電注意

※自動昇降パネルを取付ける前に、制御箱を取付けます。

a. 本体形名 PLFY-P22 ～ 140LMG4 以降の場合

1）元電源を切ってください。

2）自動昇降パネルの制御箱を本体ドレンパンの固定板金に付属の PTT ネジ 2 本で締め付けます。（**図3-1** →部）

3）付属のワイヤーサドルを（**図3-2**）の位置に取付けてください。（45・71 形：2 カ所、140 形：4 カ所）

4）本体ユニットの制御箱カバーを外して自動昇降パネルの制御箱から出ている電源配線を（**図3-3**）のように所定の経路に通します。

5）本体制御箱の電源端子台 R、S へ電源配線を接続してください。
※端子台への接続は、端子台のネジを外し、リード線の丸端子を端子台のネジで仮止めし、現地配線を合わせて端子に挿入しネジを本締めしてください。

6）本体ユニットの制御箱カバーを元どおり取付けてください。

b. 本体形名 PL-RP40 ～ 160LA13 以降の場合

1）元電源を切ってください。

2）自動昇降パネルの制御箱を本体ドレンパンの固定板金に付属の PTT ネジ 2 本で締め付けます。（**図3-1** →部）

3）付属のワイヤーサドルを（**図3-2**）の位置に取付けてください。（45・71 形：2 カ所、140 形：4 カ所）

4）本体ユニットの制御箱カバーを外して自動昇降パネルの制御箱から出ている電源配線を（**図3-3**）のように所定の経路に通します。

5）本体制御箱の電源端子台 S1、S2 へ電源配線を接続してください。
※端子台への接続は、端子台のネジを外し、リード線の丸端子を端子台のネジで仮止めし、現地配線を合わせて端子に挿入しネジを本締めしてください。
※配線リプレースキットをご使用の場合は、リプレース端子台 R、S へ電源配線を接続してください。

6）本体ユニットの制御箱カバーを元どおり取付けてください。

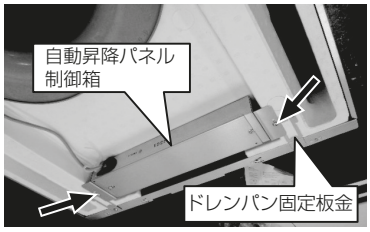


図3-1

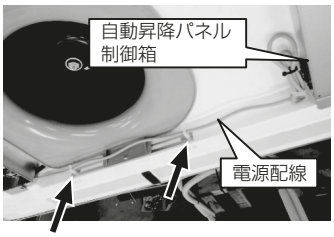


図3-2

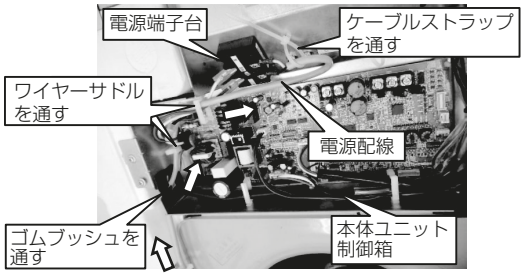


図3-3

ワイヤードリモコンで昇降操作する場合（ワイヤード仕様）

ワイヤードリモコンで昇降操作する場合は、下記のとおり配線を接続してください。

お願い	**ワイヤードリモコンは昇降操作するエアコン全てが見える位置に設置してください。** ・エアコンが見えない位置から操作した場合、下降するパネルに人や物が当たり、損傷を与える原因となります。

a. 本体形名 PLFY-P22 ～ 140LMG4 以降の場合

1）自動昇降パネルの制御箱カバーのネジ 2 本を緩め、取外してください。

2）付属リード線②を昇降基板の CN3G（クロ）に差込み、電源配線を通しているゴムブッシュに通してください。（**図3-4**）

3）（**図3-5** ⒶⒶ、**図3-5** ⒷⒷ）のように所定の経路を通します。

4）付属リード線②のコネクター（3P クロ）を本体制御基板上のコネクター CN3G（クロ）に確実に差込んでください。（**図3-5** ⒶⒶ、**図3-5** ⒷⒷ）

b. 本体形名 PL-RP40 ～ 160LA13 以降の場合

1）自動昇降パネルの制御箱カバーのネジ 2 本を緩め、取外してください。

2）付属リード線②を昇降基板の CN3G（クロ）に差込み、電源配線を通しているゴムブッシュに通してください。（**図3-4**）

3）（**図3-5** ⒸⒸ、**図3-5** ⒹⒹ）のように所定の経路を通します。

4）付属リード線②のコネクター（3P クロ）を本体制御基板上のコネクター CN3G（クロ）に確実に差込んでください。（**図3-5** ⒸⒸ、**図3-5** ⒹⒹ）

図3-4

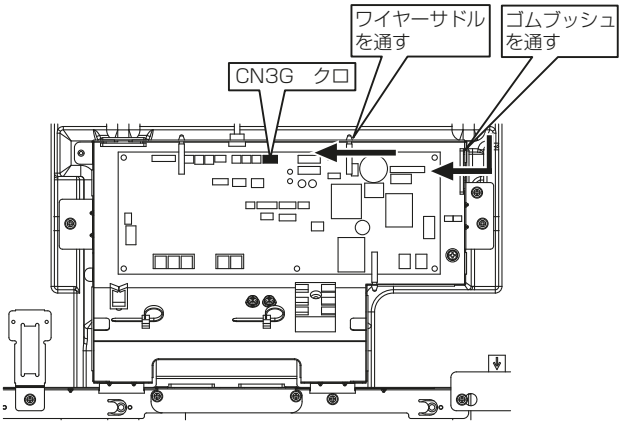


図3-5 ⒶⒶ（本体形名 PLFY-P・LMG4 以降の場合）

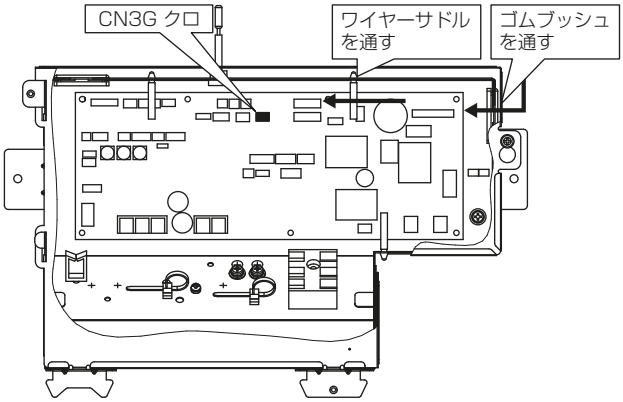


図3-5 ⒷⒷ（本体形名 PLFY-P・LMG9 以降の場合）

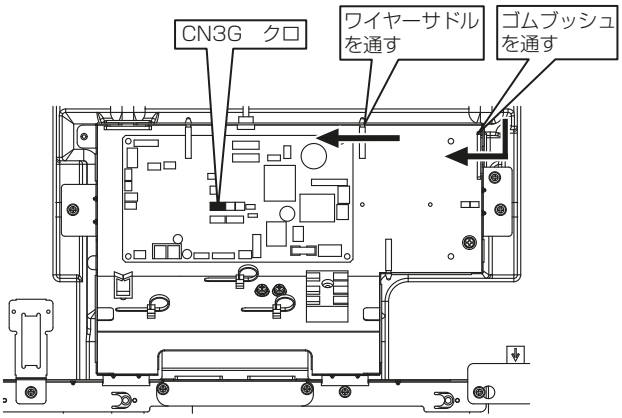


図3-5 ⒸⒸ（本体形名 PL-RP40 ～ 160LA13 以降の場合）

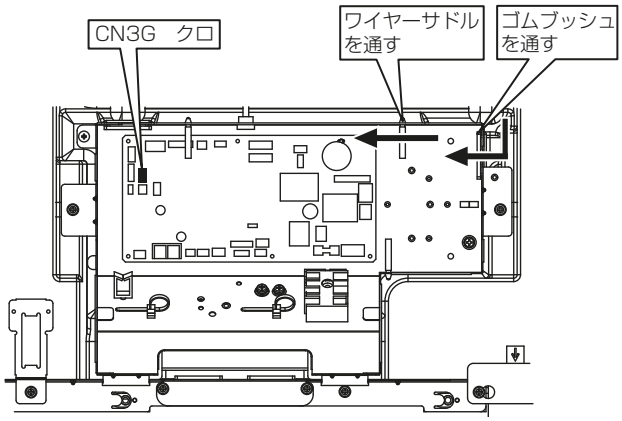


図3-5 ⒹⒹ（本体形名 PL-RP40 ～ 160LA17 以降の場合）

4. 自動昇降パネル取付前の準備

1）自動昇降パネルを取付ける前にユニット本体が、正常に吊られているか確認してください。ユニット本体は**図4-1** のように本体下面位置が規定の寸法内に天井に引込むように据付けられていれば正常です。中敷きダンボールのパネルゲージを使用して**図4-1** のように本体の「長手方向」と「短手方向」の取付位置の調節、確認してください。

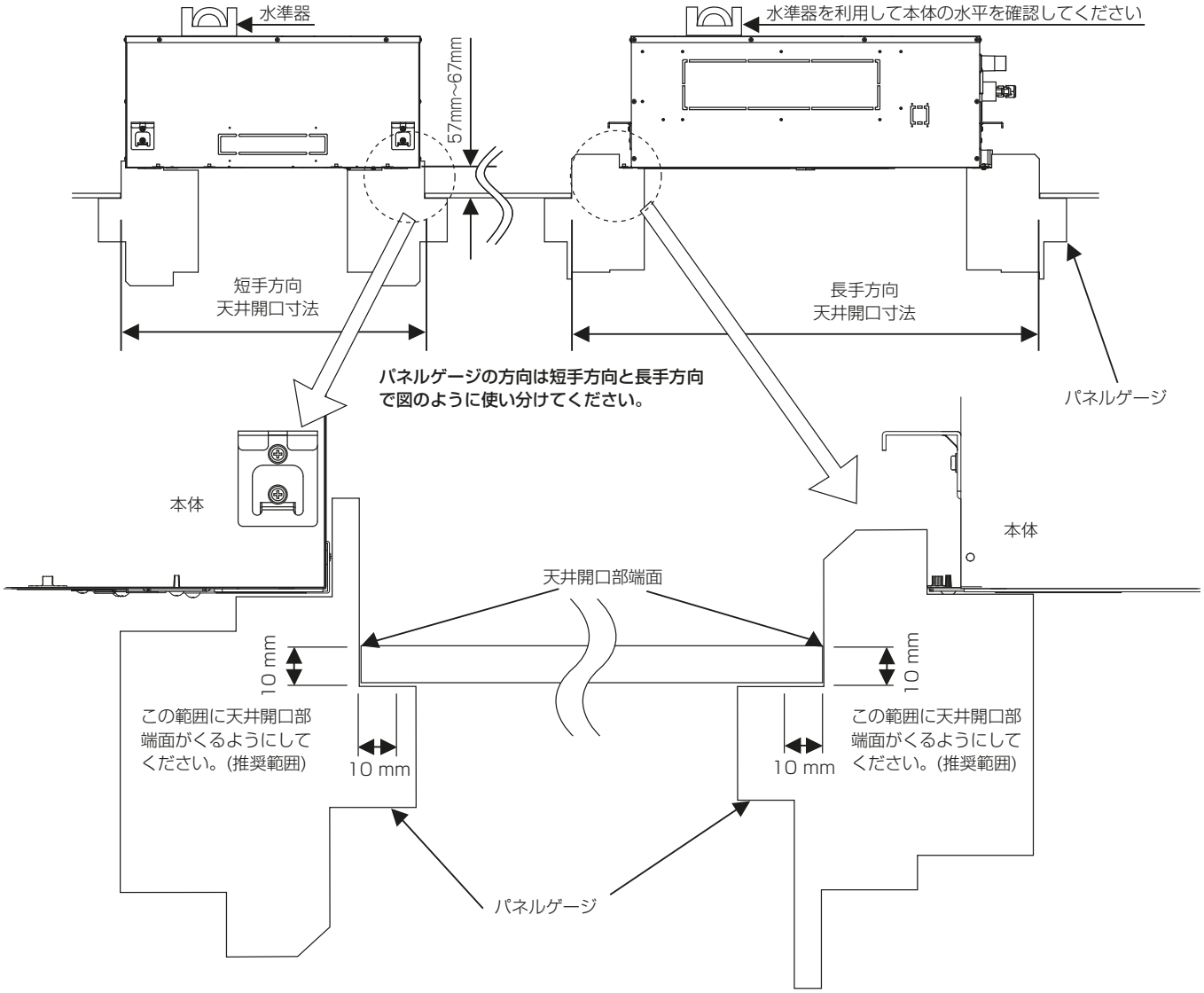
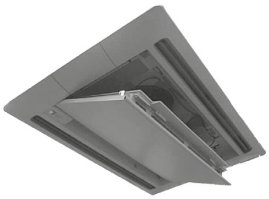


図4-1

- 天井面とユニット本体の位置が正しく合っていないと風漏れや露垂れおよびパネルたわみの原因となります。
  （パネルゲージは標準的な取付位置になるように設定しています。）
- 天井開口寸法は下記の寸法か確認してください。
  45 形パネル　　寸法　1040 × 670
  71 形パネル　　寸法　1210 × 670
  140 形パネル　　寸法　1710 × 670



2）サービスパネルを外してください。
パネル本体とサービスパネル間に緩衝材が入っています。
緩衝材を取除いてから、サービスパネルを外してください。
※ムーブアイパネルはムーブアイセンサが突起となっていますのでサービスパネルの取外し、取付けの際には無理な力が加わらないようご注意ください。
またムーブアイセンサを下向きで床におかないでください。

5. 自動昇降パネルの取付け

1）自動昇降パネルを取付ける前に、ユニット本体に付属のパネル取付ネジ（長）2 本を**図5-1** の位置に対角で仮止めします。（**図5-2** のとおりパネル取付ネジ（長）の一段目のネジ部がユニット本体のナットを通抜ける位置までねじ込みます。）

2）自動昇降パネルを取付けてください。（オートベーンのコネクタ部が必ず配管側になるよう方向に注意してください。）
方向を合わせたら、仮止めしたパネル取付ネジ（長）にパネル本体吸込口部の U 切欠き穴を引掛けます。（**図5-3**）
最初に反配管側、次に配管側を引掛けます。
（配管側はパネル取付ネジ（長）を内側に押して引掛けると作業が楽に行えます。）

3）パネル取付ネジ（短）2 本で残りの 2 カ所を仮止めしてください。（仮止めを行わないと、パネルを持ち上げたり、強く揺らすと外れることがあります。）（**図5-4**）

図5-1

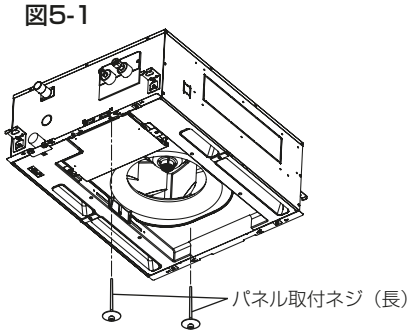


図5-2

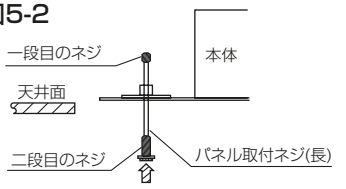
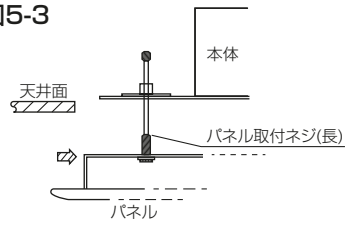


図5-3



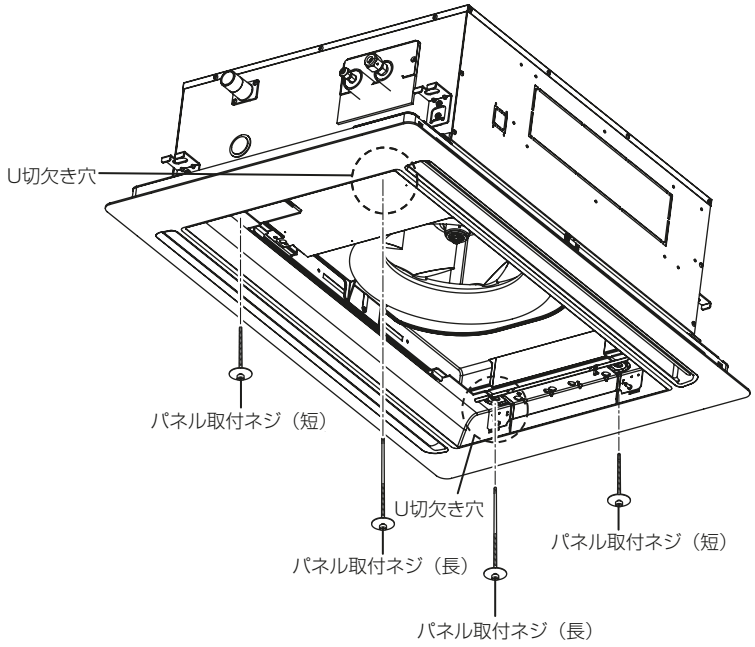


図5-4

お願い	**パネルは水平に取付けてください。** ・ 傾きがあると昇降・収納動作が正常にできない場合があります。

6. オートベーンの配線接続

※リード線は、サービスパネルに挟込まないように付属の結束バンドにて束ねてください。
※オートベーンには、無理な力を絶対に加えないでください。故障の原因となります。

1）本体ユニットの制御箱カバーを外してください。（**図6-1**）
2）パネルのベーンモータ用リード線をサイドフレームのゴムブッシュに通してください。（**図6-2**）
3）本体制御箱内コントローラ基板の CNV にパネルのベーンモータ用リード線のコネクタを確実に差込んでください。（**図6-3 ⓐ、図6-3 ⓑ、図6-3 ⓒ、図6-3 ⓓ**）

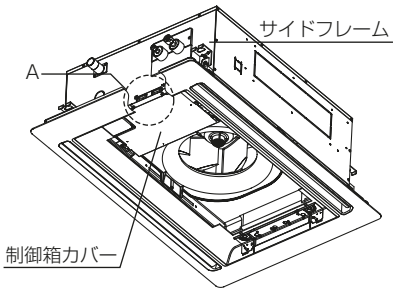


図6-1

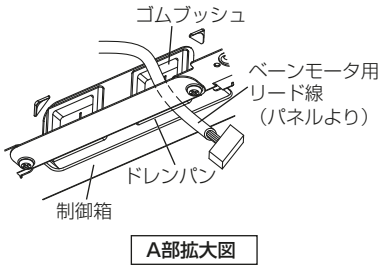


図6-2

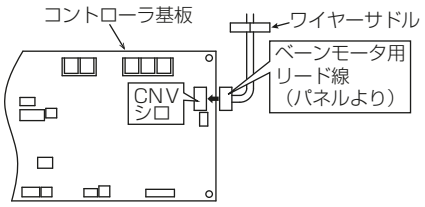


図6-3 ⓐ（PLFY-P・LMG4 以降の場合）

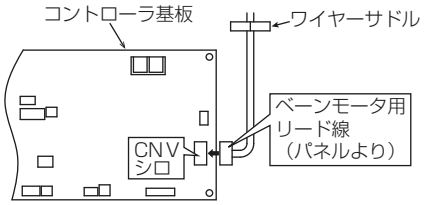


図6-3 ⓒ（PL-RP・LA13 以降の場合）

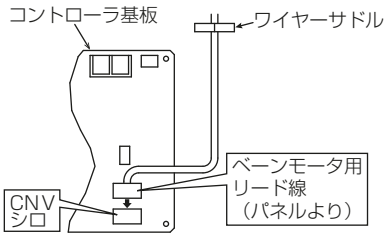


図6-3 ⓓ（PL-RP・LA17 以降の場合）

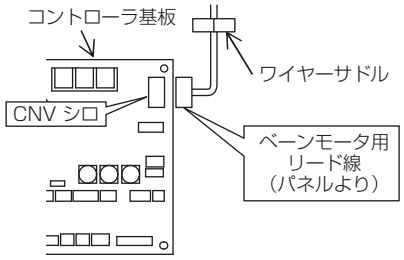


図6-3 ⓑ（PLFY-P・LMG9 以降の場合）

7. ムーブアイの配線接続（CMP-P･ALWEG5 の場合）

パネルのムーブアイセンサ用リード線およびモータ用リード線をサイドフレームのゴムブッシュに通してください。
本体制御箱内のワイヤーサドルを通し、コントローラ基板の CN4Z ／ CN5Y にパネルのムーブアイセンサ用リード線およびモータ用リード線のコネクタを確実に差込んでください。（**図7-1 ⓐ、図7-1 ⓑ、図7-1 ⓒ、図7-1 ⓓ**）

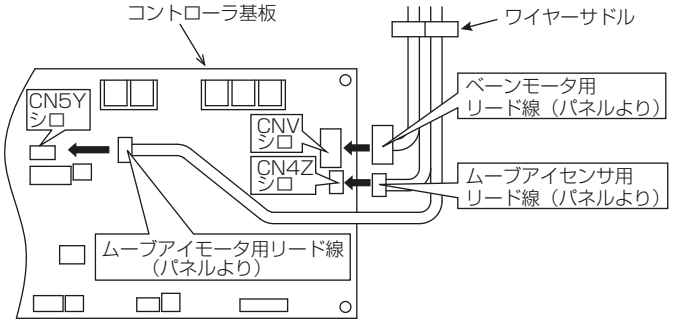


図7-1 ⓐ（PLFY-P・LMG4 以降の場合）

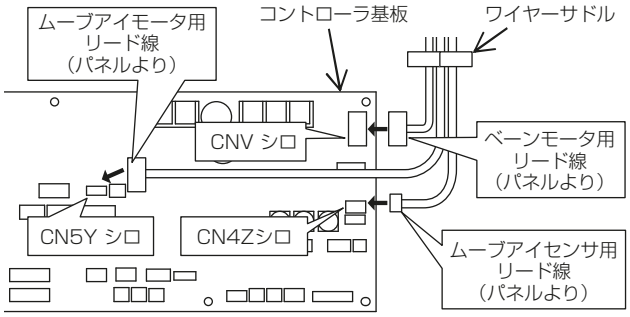


図7-1 ⓑ（PLFY-P・LMG9 以降の場合）

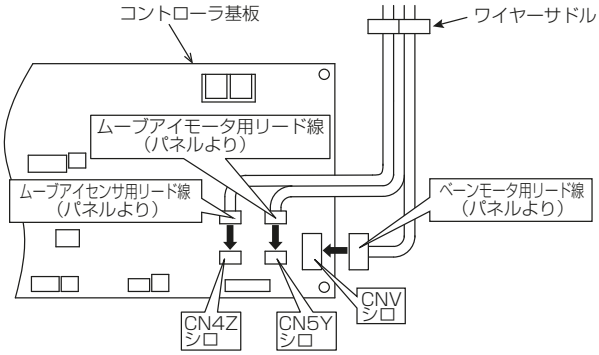


図7-1 ⓒ（PL-RP・LA13 以降の場合）

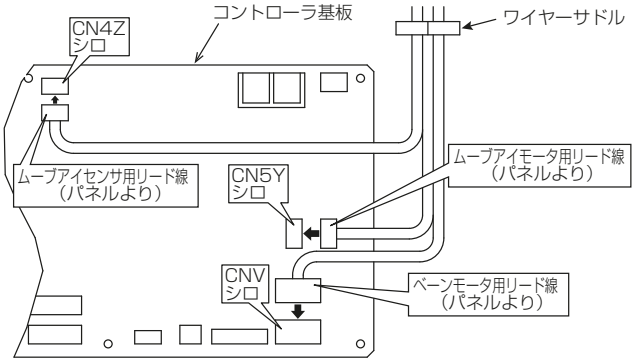


図7-1 ⓓ（PL-RP・LA17 以降の場合）

8. ムーブアイ天井高さ設定

リモコンからの設定となりますので、機能選択の手順、操作方法についてリモコンに付属の据付工事説明書（設定編）のサービスメニューを参照してください。

モード	設定内容	モード No.	設定番号	初期設定	チェック欄 ※	備考
ムーブアイ天井高さ設定	低天井	26	1			天井高さ 2.7m 未満
	標準		2	○		天井高さ 2.7m ～ 3.5m
	高天井		3			天井高さ 3.5m 以上

※工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全ての設定内容を上表のチェック欄に○印等で記入してください。

9. 昇降パネル制御箱の配線接続

1）自動昇降パネルの制御箱カバーのネジ 2 本を緩め、取外します。

2）黒コネクタ（2P）2 本、白コネクタ（2P）2 本、赤コネクタ（2P）1 本を昇降基板の同色コネクタに確実に差込んでください。（**図9-1**）

※リード線の余長分は付属の結束バンドにて束ねてください。

3）パネルからの 7 心ケーブル線のコネクタ（7P クロ）を付属のリード線①を使用して昇降基板 CN91（シロ）に確実に差込んでください。（**図9-2**）

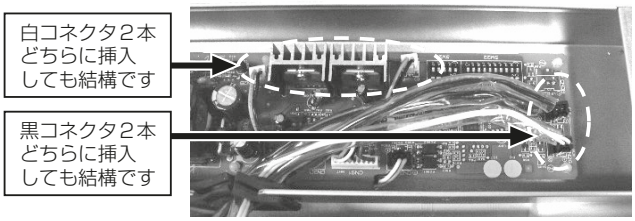


図9-1

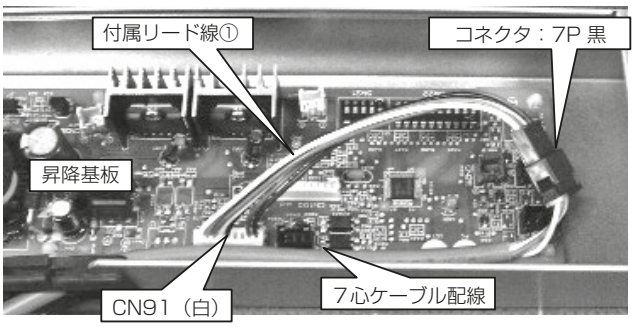


図9-2

10. アース線の配線（P140 形パネルのみ）

① 昇降パネル制御箱側

1）パネルからのアース線を（**図10-1**）のように制御箱内を配線し、ゴムブッシュに通してください。

2）（**図10-2**）のアース線取付箇所のアースネジを一度取外し、パネルからのアース線と共に再度取付けてください。

※リード線の余長分は付属の結束バンドを用いて制御箱内で束ねてください。

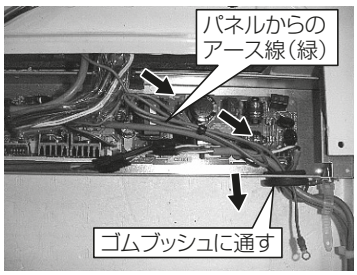


図10-1

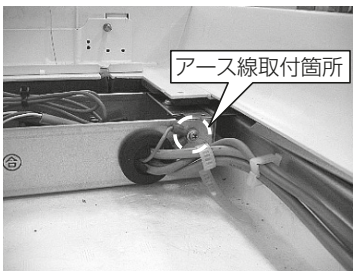


図10-2

② 本体制御箱側

1）パネルからのアース線を**図6-2**と同様にサイドフレームのゴムブッシュに通してください。

2）（**図10-3**, **図10-4**）のように本体制御箱内を通し、アース線取付箇所に、アース線を取付けてください。

※アース線の余長分は付属の結束バンドを用いて制御箱内で束ねてください。

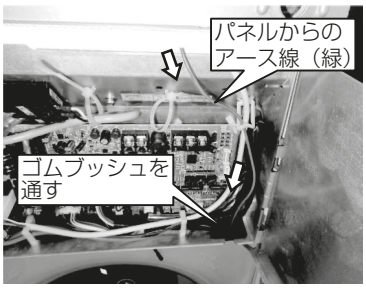


図10-3
（制御箱カバーを開いた状態）

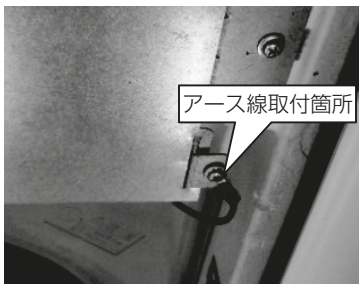


図10-4
（制御箱カバーを閉じた状態）

11. サービスパネルの下降位置設定

この自動昇降パネルは、サービスパネルの下降距離を設置場所に合わせお客様の要望により、4 段階に設定することができます。

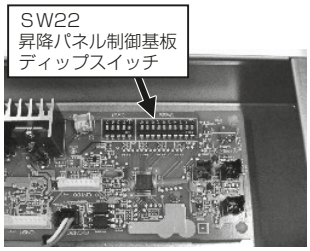
※工場出荷時は、天井面より 1.3m に設定しています。

※電源投入前に設定してください。（電源投入後に設定する場合は必ず電源を切ってから作業を行ってください。）

1）自動昇降パネルの制御箱のカバーを外します。

2）制御基板の SW22 のディップスイッチを下表の設定にします。

下降距離（天井面より）	約 1.3m	約 1.8m	約 2.4m	約 3.1m
天井高さの目安	～ 2.5m	2.5 ～ 3m	3 ～ 3.6m	3.6 ～ 4.2m
SW22 の設定	工場出荷時の状態			



※昇降距離は目安であり，30cm 程度の範囲で変動することがあります。

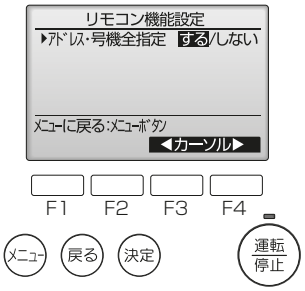
12. ワイヤードリモコン（PAR-38MA）の機能設定（PL-RP・LA 形のみ）

ワイヤードリモコンから昇降操作する場合は、本設定を行ってください。
リモコンの操作方法詳細はリモコンの「据付工事説明書（設定編）」を参照ください。

1）サービスメニューにて **[F1] [F2]** ボタンを押して「リモコン機能設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押すとリモコン機能設定画面を表示します。

2）アドレスおよび号機の全指定「する／しない」を“する”にしてください。（**[F3] [F4]** ボタンで選択します。）

3）選択後、**[メニュー]** ボタンでサービスメニュー画面に戻ります。



13. 配線図メイバンの貼付け（ワイヤード仕様）

ワイヤード仕様で配線接続された場合は、自動昇降パネル制御箱カバーの裏面に図のとおり配線図メイバンを貼付けてください。貼付け後、制御箱カバーを元どおりに取付けます。

※室内ユニット形名により貼付けるメイバンが異なりますので形名を確認して下さい。

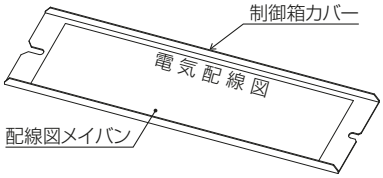
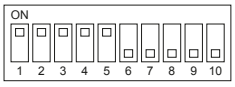


図13-1



スイッチの見方例：左記スイッチは 1 ～5がON、6～10がOFFを示します。

14. 自動昇降パネルの固定

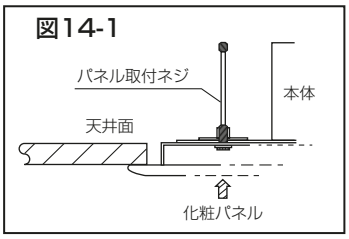
● 45、71 形の場合

① 自動昇降パネルを持ち上げ、仮止めしていた取付ネジ（長）および（短）を締め付けてください。（**図14-1**、**図14-2**）

● 140 形の場合

① 自動昇降パネルの中央部を本体に固定するため、付属のトラスネジとワッシャーにて 2 カ所交互にバランスよく仮止めしてください。（**図14-2**）

② 仮止めしていた取付ネジ（長）および（短）とトラスネジを締め付けてください。（**図14-1**、**図14-2**）



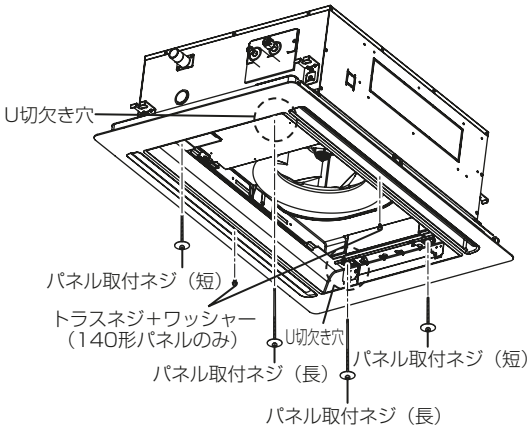


図14-2

⚠ 注 意	**全てのネジを仮止めした後、バランスよく締め付けてください。**

※締付手順を間違ったり、仮止めをしなかった場合は、パネルのたわみにつながるおそれがあります。

※ユニット本体と自動昇降パネル、および自動昇降パネルと天井面との間に隙間が出来ないように、4 本とも（140 形パネルは 6 本）均等に締込んでください。

※ユニット本体と自動昇降パネル間に隙間が出来ますと風漏れにより露付、露垂れの原因になります。また、自動昇降パネルと天井面に隙間が出来ますと、パネルの露付き、スマッジング（天井面が汚れる）の原因になります。（**図14-3**）

※パネルの取付けがうまく出来ない場合は再度、本体の吊込み状態を確認してください。

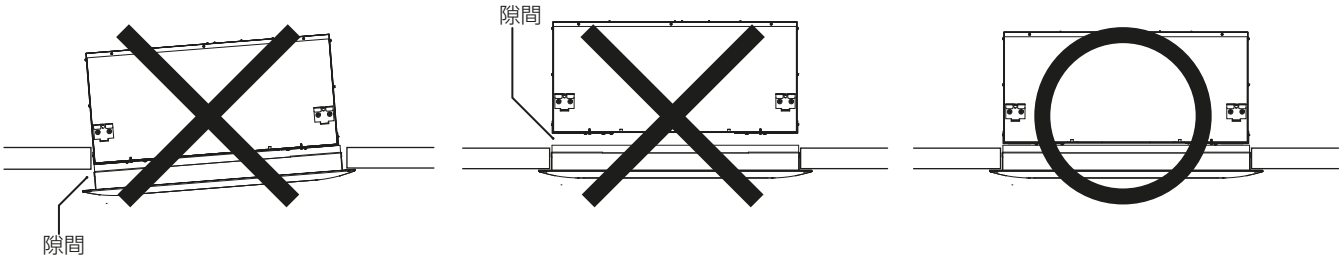


図14-3

15. サービスパネルの取付け

1）自動昇降パネルにテープ貼りしているワイヤーを外してください。
次に、ワイヤー先端に取付けてある部品（45･71 形パネルの場合樹脂／ 140 形パネルの場合金属製フック）をサービスパネルに取付けます。（**図15-1**、**図15-2**）（断熱材を押し込んで、部品を取付けてください。）

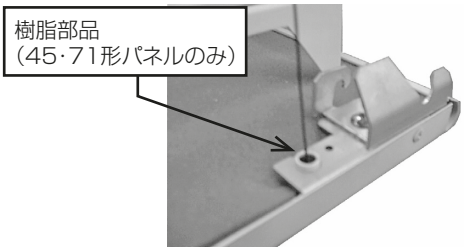


図15-1

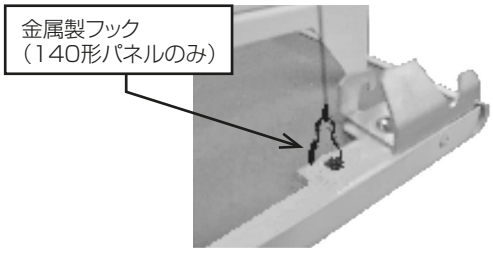


図15-2

2）（45・71 形パネルのみ）
付属のプレート BR を（**図15-3**）のように PTT ネジ 1 個で、計 4 カ所ネジ止めしてください。（プレートの挿入方向に注意してください。）

※プレートは必ず取付けてください。付け忘れた場合、サービスパネル、フィルターが落下し、ケガの原因になります。

※ 4 本のワイヤーの張力がほぼ均一になるように調整してください。ワイヤーは下方に強く引けば下がります。

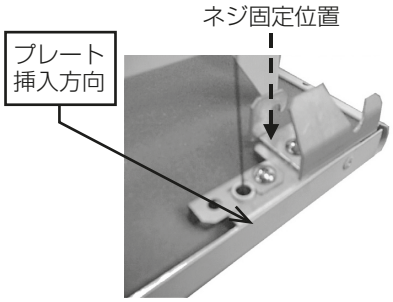


図15-3

16. 自動昇降パネルの収納

室内ユニットは必ず停止させた状態で作業してください。

リモコンまたはパネル受光部の **[上げる]** ボタンを押すと、サービスパネルは収納されます。

◆電源線の接続・制御基板コネクタの接続・化粧パネルの隙間・ワイヤーの取付けを再度確認し同一電源を使用している箇所の安全を確認した上で電源を投入してください。

17. オートベーン、自動昇降パネルおよびムーブアイの動作確認

1）ユニット本体と自動昇降パネル、および自動昇降パネルと天井面に隙間のないことを確認してください。（**図14-3**）
※隙間があると、露たれや露付きおよび収納不良の原因となります。

2）配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されていないと上下風向ベーンおよびムーブアイが動かない、サービスパネルが昇降しない、または露たれや露付きの原因となります。

3）サービスパネルの下降距離がお客様の要望に合っていること、また、昇降動作がスムーズであることを動作させ確認します。
昇降操作方法は「取扱説明（17 ページ）」以降を参照してください。
※昇降動作中、サービスパネルが傾くことがありますが、ワイヤーを巻くスピードが異なるためで異常ではありません。
※正常位置にサービスパネルが収納されない場合、**最高 4 回**昇降動作を繰り返します。その際クラッチ音が鳴りますが故障ではありません。4 回目の昇降動作を繰り返し後は、その状態で停止します。収納されない状態で停止している場合は再度リモコンにて数十ｃｍ程度下降操作後、再度上昇操作してください。リモコン操作を繰り返してもサービスパネルが昇降されない場合は販売店または、サービス会社までご連絡ください。

◆正しく収納されない場合は以下の項目を確認してください。

原因	処置
フィルターが正しく取付けられていない。	25 ページ 5 項の通り引掛け部を正しく差し込んでください。
機器の配線がはさまっている。	配線のたるみやはさみこみを取り除いてください。

4）オートベーンおよびムーブアイの動作確認につきましては本体の据付工事説明書（試運転）または、取扱説明書の内容により実施してください。
※動かない場合は［6. オートベーンの配線接続］［7. ムーブアイの配線接続（CMP-P･ALWEG5 の場合）］の作業を再確認してください。

18. 風の吹き分け方法

- オートベーンを左右個別に設定し、吹き分けることができます。
- ベーンの固定方法については、リモコンからの設定となりますので、リモコンに付属してあります取扱説明書の 風向固定操作 の項、もしくは、室内ユニット本体に付属してあります取扱説明書の 使用方法 の項をご覧ください。

19. 応急時のサービスパネルの固定について

電源投入前、および昇降メカ故障時サービスパネルが動作しなくなったときは、下記の応急処置を実施（仮固定）してください。

1）サービスパネルの取外し
サービスパネルの取外しは、「15. サービスパネルの取付け（13 ページ）」の項と逆手順で行います。
パネルを吊上げているワイヤーは強く引っ張るとカラ回りするようになっています。パネルの両端を持ち強く、ゆっくりと下に引っ張ってください。20cm 程度下がったらワイヤーからサービスパネルを取外します。
ワイヤーはパネル本体にテープ等で仮止めしてください。

2）サービスパネルの取付け
4 隅のパネル引掛け金具を取外し、180° 回して固定します。（**図19-1**）
サービスパネルの片側を引掛け、**図19-2** ～**図19-4** のように動かして取付けます。
※サービスパネルの片側を引掛ける際、長いフック側が化粧パネルのリモコン受光部側にくるように方向に注意してください。（**図19-2**）

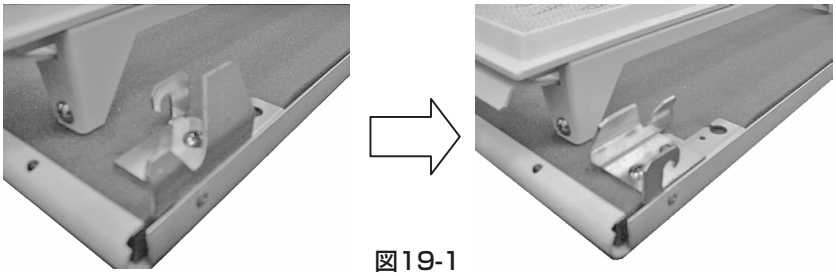


図19-1

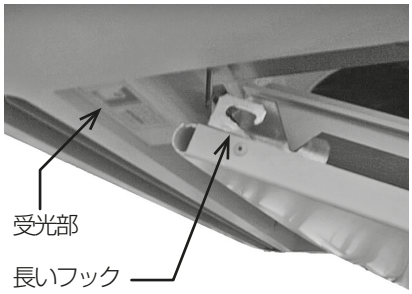


図19-2

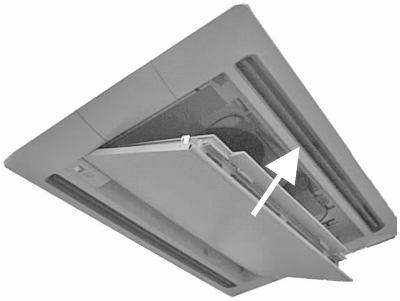


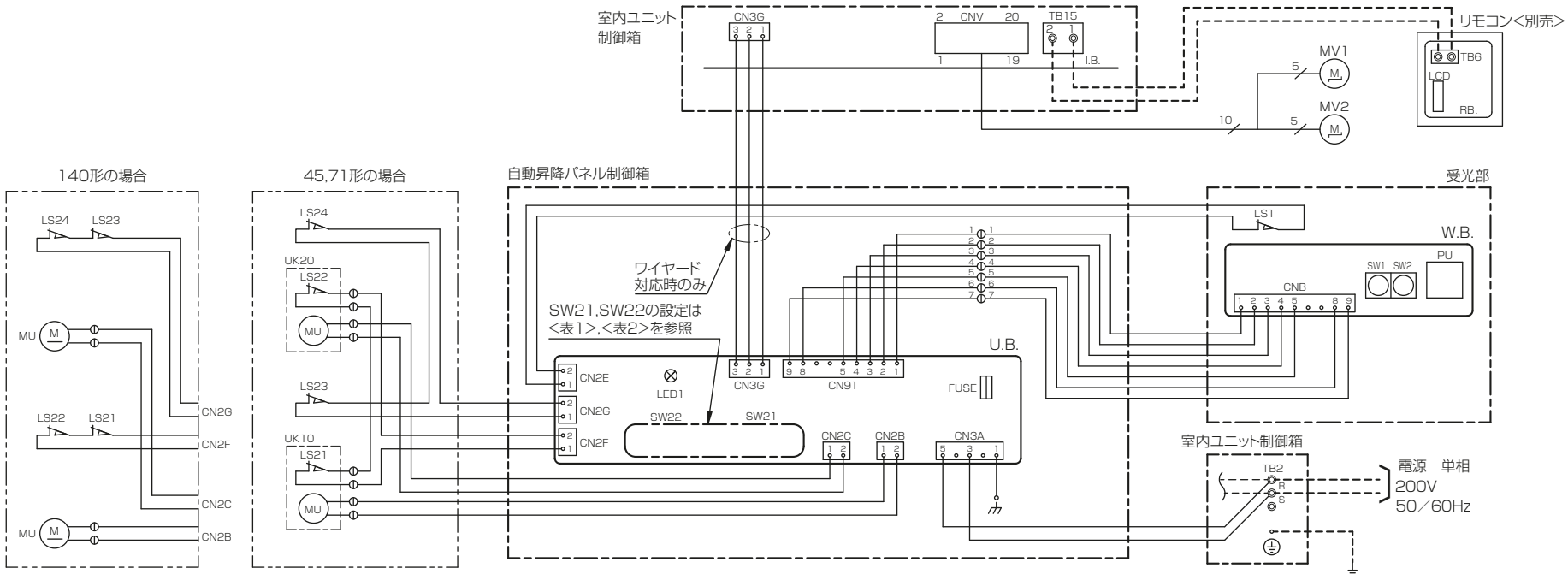
図19-3

図19-4

※サービスパネルは仮固定となっているため、全開にすることはできません。
半開き状態で取外してください。（**図19-3**）
※仮固定になっていることを、貼り紙などで本体に表示してください。
※修理が完了し、サービスパネルが正常に動作するようになったらの反対の手順で元どおりに戻してください。

20. 電気配線図

a. 本体形名 PLFY 形



注. ---（太破線）: 現地配線／ ---（細破線）: 室内ユニット配線

①: コネクタ／ ◎: 端子台

<表1>

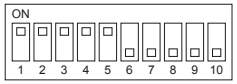
パネル形名	SW21(機種設定)
45形	ON 1 2 3 4 5
71形	ON 1 2 3 4 5
140形	ON 1 2 3 4 5

<表2>

パネル形名	SW22(昇降距離設定)		
	下降距離	天井高さの目安	スイッチ設定
45形 71形 140形	1.3m (工場出荷時)	～2.5m	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
	1.8m	2.5～3m	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
	2.4m	3～3.6m	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
	3.1m	3.6～4.2m	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

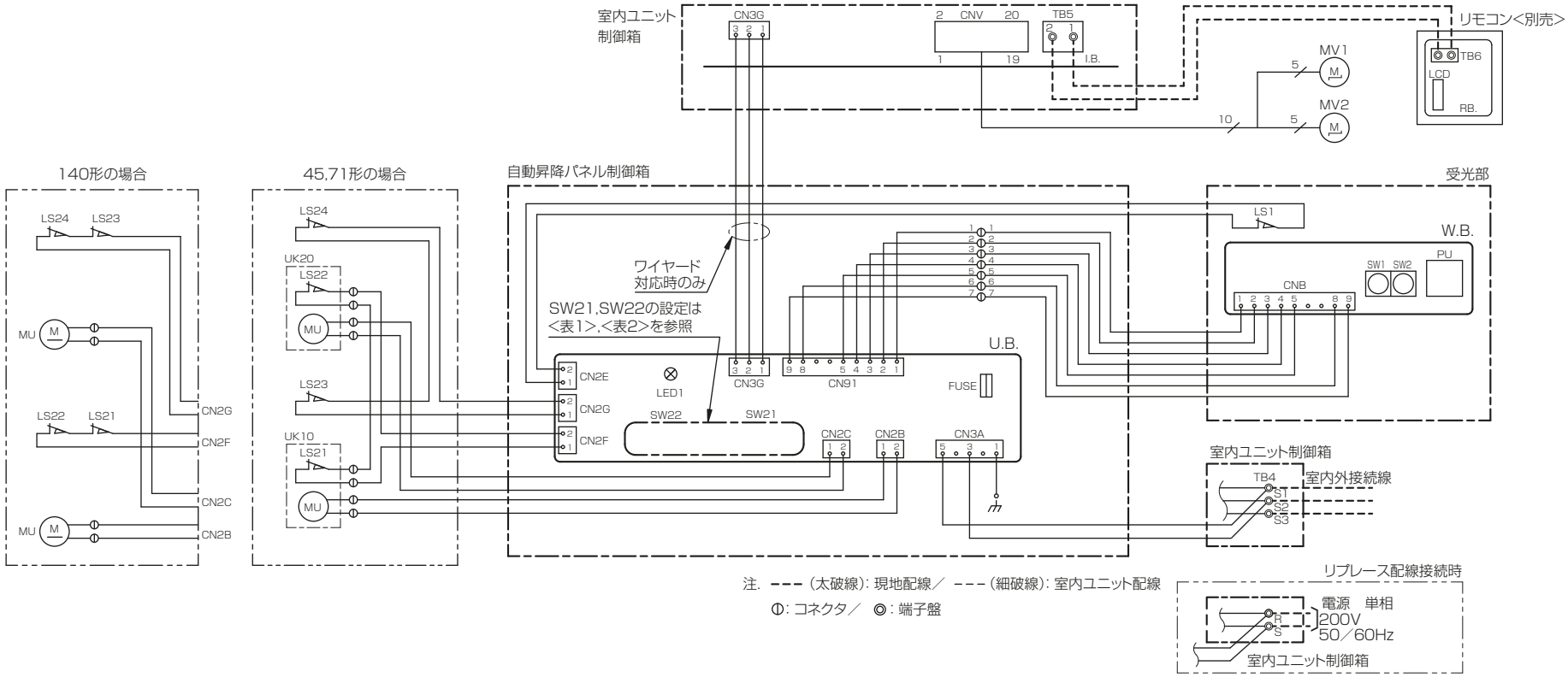
記 号 説 明

記　号		名　　称	記　号	名　　称
U.B.		昇降用制御基板	UK10,20	パネル昇降メカ(リミットスイッチ付)
	SW21	スイッチ(機種設定)	LS1	リミットスイッチ(収納検知)
	SW22	スイッチ(昇降距離設定)	LS21～24	リミットスイッチ(張力検知)
	FUSE	ヒューズ<3.15A>	MU	昇降用電動機
W.B.		昇降用ワイヤレス受光基板	MV1,2	ペーン用電動機
	SW1	応急スイッチ(下降)	I.B.	室内制御基板<室内ユニット>
	SW2	応急スイッチ(上昇)	TB2	電源端子台<室内ユニット>
	PU	受光部(昇降用)	TB15	MAリモコン用端子台<室内ユニット>
R.B.		リモコン基板 <別売>		
	TB6	端子台(室内ユニット接続)		
	LCD	液晶表示器		



スイッチの見方例：左記スイッチは１～5がON、6～10がOFFを示します。

b. 本体形名 PL 形



<表1>

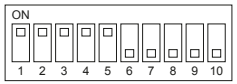
パネル形名	SW21(機種設定)
45形	ON 1 2 3 4 5
71形	ON 1 2 3 4 5
140形	ON 1 2 3 4 5

<表2>

パネル形名	SW22(昇降距離設定)		
	下降距離	天井高さの目安	スイッチ設定
45形 71形 140形	1.3m (工場出荷時)	～2.5m	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
	1.8m	2.5～3m	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
	2.4m	3～3.6m	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
	3.1m	3.6～4.2m	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

記号説明

記号	名称	記号	名称
U.B.	昇降用制御基板	UK10,20	パネル昇降メカ(リミットスイッチ付)
SW21	スイッチ(機種設定)	LS1	リミットスイッチ(収納検知)
SW22	スイッチ(昇降距離設定)	LS21～24	リミットスイッチ(張力検知)
FUSE	ヒューズ<3.15A>	MU	昇降用電動機
W.B.	昇降用ワイヤレス受光基板	MV1,2	ベーン用電動機
SW1	応急スイッチ(下降)	I.B.	室内制御基板<室内ユニット>
SW2	応急スイッチ(上昇)	TB4	端子盤(内外接続)<室内ユニット>
PU	受光部(昇降用)	TB5	端子盤(リモコン伝送線)<室内ユニット>
R.B.	リモコン基板 <別売>		
TB6	端子台(室内ユニット接続)		
LCD	液晶表示器		



スイッチの見方例：左記スイッチは1～5がON、6～10がOFFを示します。

■ 取扱説明

⚠ 注意	・ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この説明書を必ずお読みください。 ・お読みになった後は、本体操作用の取扱説明書、本体据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

1. 使用上の注意

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。

降ろしたサービスパネルの上にフィルター以外のものをのせたり、ぶらさがらない。

・落下、転倒によるケガの原因になります。

サービスパネルの昇降動作中にパネルの下に立たない。またはものを置かない。

・万一サービスパネルが落下した場合などにケガの原因になります。

電池を絶対にショートさせない。また、分解、加熱、火中への投入は絶対にしない。

・破裂、発熱のおそれがあり、ケガ、火傷や故障の原因になります。

サービスパネルの昇降操作をするときは、ユニットの運転をとめる。

・ケガの原因、昇降装置の故障の原因になります。

フィルターの清掃は 1 ヶ月に 1 回程度が目安です。

・頻繁にサービスパネルの昇降動作を行うと寿命の低下を招くおそれがあります。サービスパネルが「上昇しない・下降しない・収納できない」場合、またはワイヤーが切れた場合は故障ですのでお買い上げの販売店までご連絡ください。

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

フィルターやサービスパネルの清掃以外の目的で昇降操作をしない。

・ケガや故障の原因になります。

サービスパネルの昇降操作中に、ワイヤーやサービスパネルには触らない。または揺らさない（風の吹いている場所での使用を控えて下さい）。

・サービスパネルがぶつかったり、ワイヤーが巻き付いたりしてケガの原因､昇降装置の故障の原因になります。また、寿命低下の要因となります。

フィルター清掃時、または動作中にサービスパネルに下方への力を加えない。

・昇降装置の故障の原因になります。

必ず昇降動作を確認しながら操作をする。また、エアコンの下には昇降の障害となる物を置かない。人も近づけない。

・サービスパネルが人や物に当たり、ケガの原因、物品損傷の原因になります。

連続して繰り返しての昇降操作をしない。また、サービスパネルを降ろしたままにしない。

・ケガの原因、昇降装置の故障の原因になります。

ワイヤーは折り曲げたり、刃物やタバコの火などで触れない。

・ワイヤー切断によりサービスパネル、フィルターが落下し、ケガの原因になります。

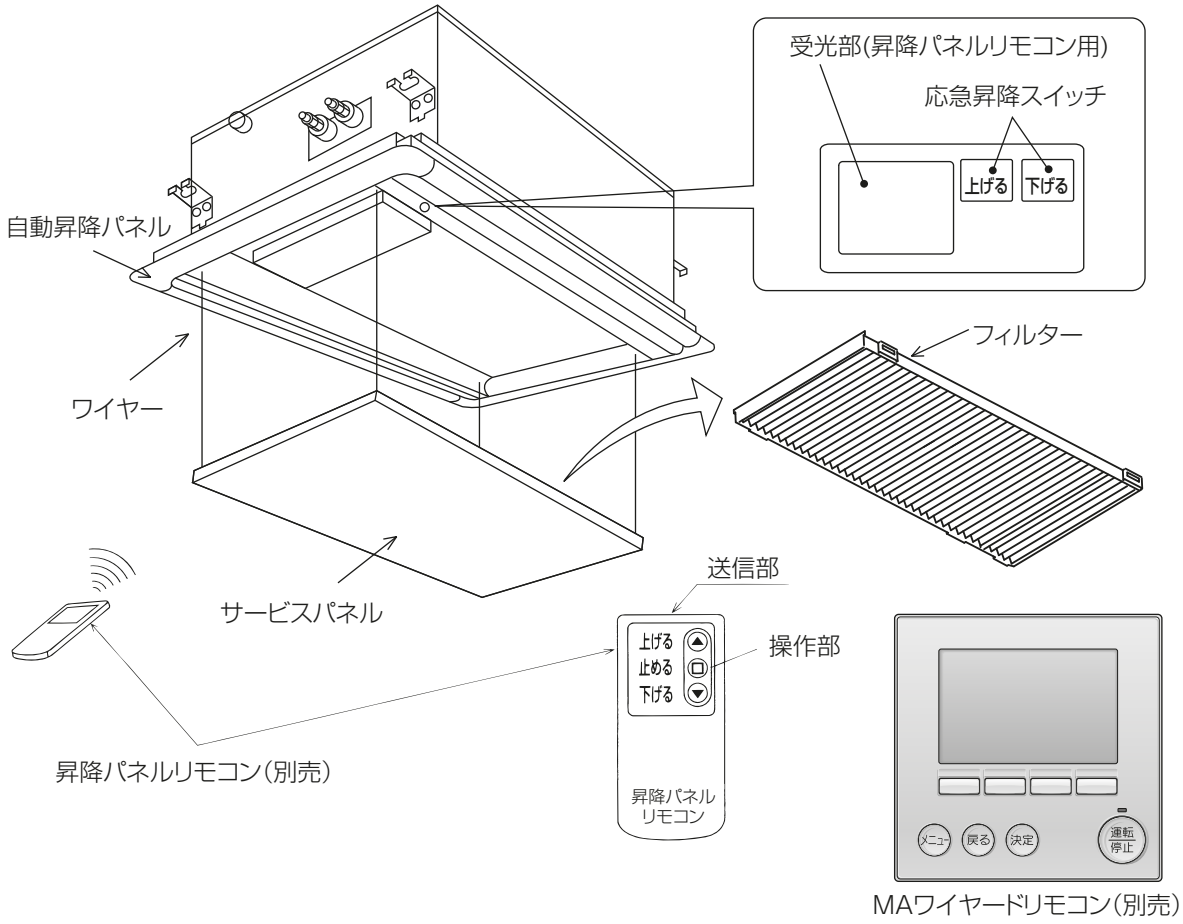
リモコンは、お子様の手の届く所に置かない。

・ケガの原因になります。
・電池を飲み込んだりして危険です。

電池の使い方を誤ると液漏れ、破裂、発熱のおそれがあり、機器の故障やケガなどの原因になりますので下記のことを必ず守る。

・充電しない。
・（＋）（－）を正しく入れる。
・使い切った電池はすぐに器具から取外す。

2. 各部の名前



3. ワイヤレスリモコン（昇降パネルリモコン(別売)）の取扱い

① ワイヤレスリモコンは自動昇降パネルの受光部に向かって操作してください。

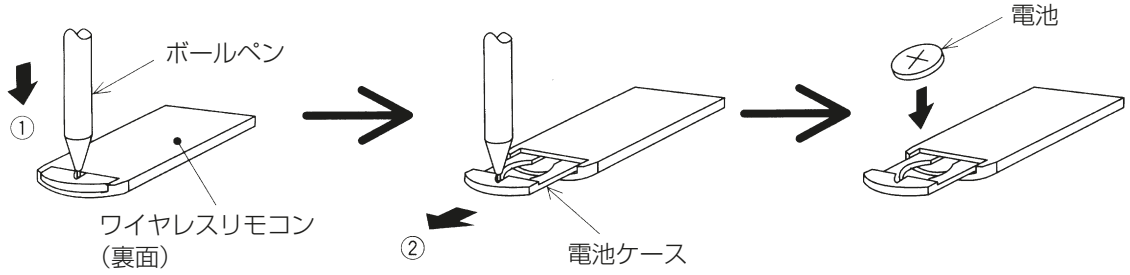
※ワイヤレスリモコンの送信部の信号が受光部に届き、“ピッ”と音を出してお知らせします。
この信号の届く範囲は直線方向で約 3m、左右方向約 30° 程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなることがあります。

※ワイヤレスリモコンの取扱いは大切にしてください。落としたり、衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、湿気の高いところには置かないでください。

※紛失防止のために、ワイヤレスリモコンに付属のマジックテープを使用し、壁等に固定するようにしてください。また、使用後は必ず元に戻すようにしてください。

② ワイヤレスリモコンの電池の入れ方

- ボールペン等の先端で矢印①のように下へ押しつけながら矢印②の方向にスライドし、電池ケースを外します。
- 電池はリチウム電池（CR2025、3V）をお使いください。
- 電池はプラス表示面を上にして電池ケースに入れ、電池ケースを元のようにワイヤレスリモコンへセットします。



4. サービスパネルの昇降操作のしかた

<1> 操作上のご注意

- サービスパネルは、ワイヤーに張力のかかった状態でないと昇降しません。
- 連続して繰り返しの下降・上昇の操作をしないでください。（故障の原因になります。）
- サービスパネルを降ろす際に、下に障害物が無いことを確認してください。
- フィルター清掃後、元のとおりに確実にサービスパネルに取付けないと、サービスパネルが収納しません。また、故障の原因になります。

<2> ワイヤレスリモコンからの操作

1）エアコンの運転を必ず停止します。

⚠警告	**エアコンの運転を必ず停止します。**
	●ケガや故障の原因になります。

2）リモコンの **[下げる]** ボタンを押し、サービスパネルを降ろします。
サービスパネルが下降し、一定の距離で自動停止します。

※工場出荷時は、天井面より約 1.3m で自動停止します。
下降距離の設定を変更したい場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
（その他にも、1.8m ／ 2.4m ／ 3.1m の設定が可能です。）

※下降中に停止したい場合は、リモコンの **[止める]** または **[上げる]** ボタンを押すと任意の位置で停止します。

※昇降距離は目安であり、30cm 程度の範囲で変動することがあります。

3）フィルターを外し、清掃します。（「5. 清掃のしかた（25 ページ）」の項目をご参照ください。）

4）リモコンの **[上げる]** ボタンを押し、サービスパネルを収納します。

※上昇中に停止したい場合は、リモコンの **[止める]** または **[下げる]** ボタンを押すと任意の位置で停止します。

フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。

- フィルターの自重降下、落下によるけがのおそれあり。

禁止

⚠注意	**必ず昇降動作を確認しながら操作をする。また、エアコンの下には昇降の障害となる物を置かない。人も近づけない。**
	●サービスパネルが人や物に当たり、ケガの原因、物品損傷の原因になります。

※正常位置にサービスパネルが収納されない場合、**最高 4 回**昇降動作を繰り返します。
その際クラッチ音が鳴りますが故障ではありません。4 回目の昇降動作を繰り返し後は、その状態で停止します。
収納されない状態で停止している場合は再度リモコンにて数十ｃｍ程度下降操作後、再度上昇操作してください。
リモコン操作を繰り返してもサービスパネルが昇降されない場合は販売店または、サービス会社までご連絡ください。

※昇降動作中サービスパネルが傾くことがありますが、ワイヤーを巻くスピードが異なるためで異常ではありません。

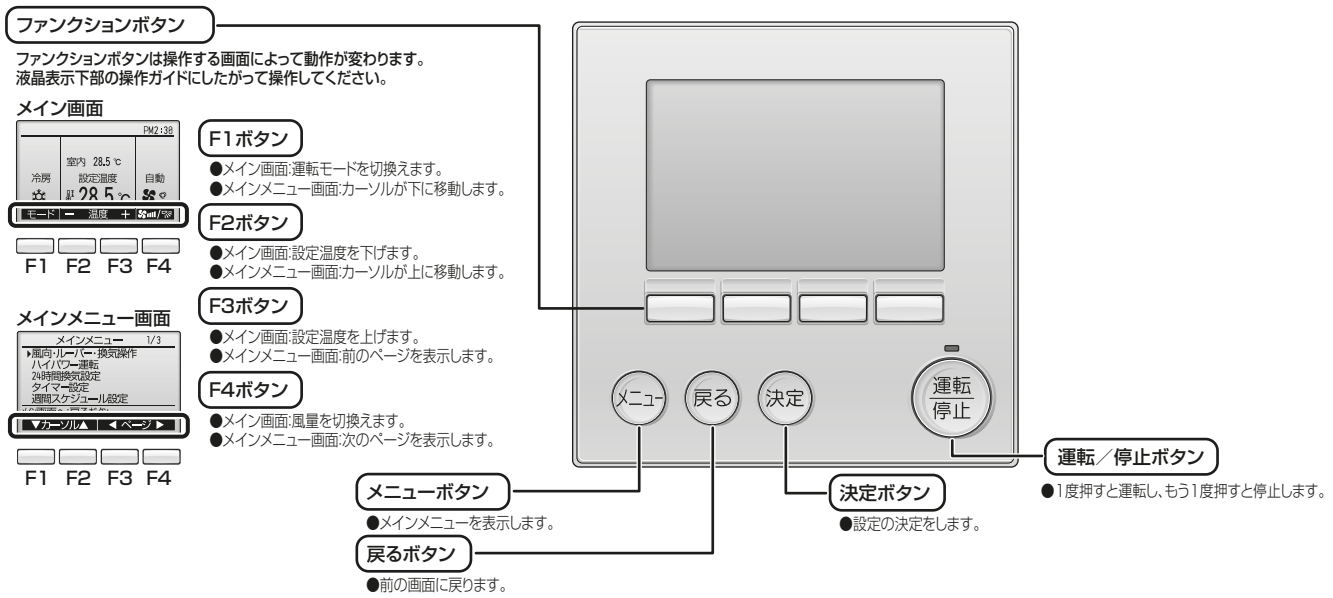
<3> ワイヤードリモコン（PAR-38MA）からの操作

① ワイヤードリモコン操作上のご注意

- 部屋のレイアウトの変更などにより、ワイヤードリモコンの位置からエアコンが見えない場合は、下降するパネルに人や物が当たり、損傷を与えるおそれがありますので、ワイヤレスリモコン（昇降パネルリモコン（別売））をご使用ください。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- 危険防止のため、必ず昇降動作を確認しながら操作をしてください。
- ワイヤードリモコンが管理しているエアコンが複数ある場合、全てのエアコンのサービスパネルが同時に昇降します。リモコンからの設定によりエアコン個別指定が可能ですが、操作を誤った場合、下降するパネルに人や物が当たり、損傷を与えるおそれがありますので、必ず昇降操作しているエアコンの下には障害となる物を置かないようにし、人も近づかないようにしてください。
- ワイヤードリモコンからの昇降操作時、途中で停止させる場合は、すぐには止まりませんので、必ず昇降操作しているエアコンの下には障害となる物を置かないようにし、人も近づかないようにしてください。

※リモコンが管理しているエアコンのサービスパネルを昇降させます。
リモコンの位置からエアコンが見えないと下降するサービスパネルに人や物が接触し損傷を与えるおそれがありますので、リモコンが管理する全てのエアコンが見渡せる位置にリモコンを設置してください。

② リモコン操作ボタン説明



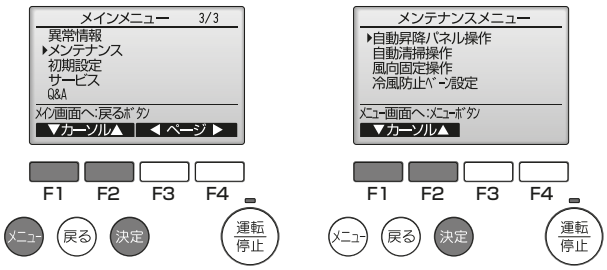
③ 設定の手順

【手順 1】エアコンを『停止』にして、リモコンを『自動昇降パネル操作』に切換えます。

⚠警告	**エアコンの運転を必ず停止します。**
	●ケガや故障の原因になります。

1）**[運転 / 停止]** ボタンで、エアコンを停止にします。
[メニュー] ボタンで、メインメニュー画面を表示します。
[F1],[F2] ボタンで、「メンテナンス」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

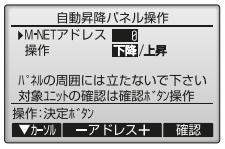
2）**[F1][F2]** ボタンで、「自動昇降パネル操作」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

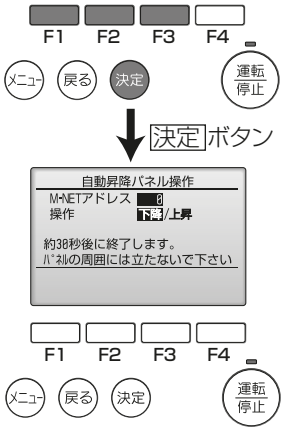


お知らせ（PL の場合）	・カンタン自動パネルを据付けているのに「自動昇降パネル操作」“無”と表示されている場合は「リモコン機能設定」にて「アドレス・号機全指定」を“する”に切換えてください。詳細はリモコンの「据付工事説明書（設定編）」を参照ください。

【手順 2】サービスパネルを下降させます。

〈PL の場合〉
[F1] ボタンで「冷媒アドレス」「号機」「操作」を選択します。
[F2] または [F3] ボタンで操作するユニットの「冷媒アドレス」と「号機」「操作」を“下降”に設定し、[**決定**] ボタンを押すことで、吸込グリルが下降します。
冷媒アドレス：0 ～ 15、一括
号機アドレス：1 ～　4、全て





〈PLFY の場合〉
[F1] ボタンで「M-NET アドレス」「操作」を選択します。[F2],[F3] ボタンで操作するユニットの「M-NET アドレス」と「操作」を“下降”に設定し、[**決定**] ボタンを押すことで、サービスパネルが下降します。

お知らせ	・操作したいユニットがわからない場合は [F4] ボタンを押すと、しばらくしてから表示対象のエアコンのみ上下風向角度が下吹きになります。（対象以外のエアコンのベーンは閉じた状態となります）確認ができたら [**戻る**] ボタンを押してください。

お知らせ	**途中で停止させることはできません。** ・下降中に [**戻る**] ボタンを押すと止まる場合がありますが、すぐには止まりません。（最大 8 秒かかります） **工場出荷時は、天井面より 1.3m の下降距離で自動停止します。** ・下降距離を変更したい場合は、お買上の販売店へご相談ください。（1.8m/2.4m/3.1m の設定変更ができます。距離は目安ですので、実際に下降させて確認してください） ・昇降距離は目安であり、30cm 程度の範囲で変動することがあります。

フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。
・フィルターの自重降下、落下によるけがのおそれあり。

禁止

⚠注意	**必ず昇降動作を確認しながら操作をする。また、エアコンの下には昇降の障害となる物を置かない。人も近づけない。**
	●サービスパネルが人や物に当たり、ケガの原因、物品損傷の原因になります。

【手順 3】フィルターやサービスパネルをはずし、清掃します。

「5. 清掃のしかた（25 ページ）」を参照し、フィルターやサービスパネルの清掃をおこなってください。

【手順 4】サービスパネルを収納します。

〈PL の場合〉
【手順 2】を参考に「冷媒アドレス」「号機」を選択し、“上昇”を選択したら [**決定**] ボタンを押します。

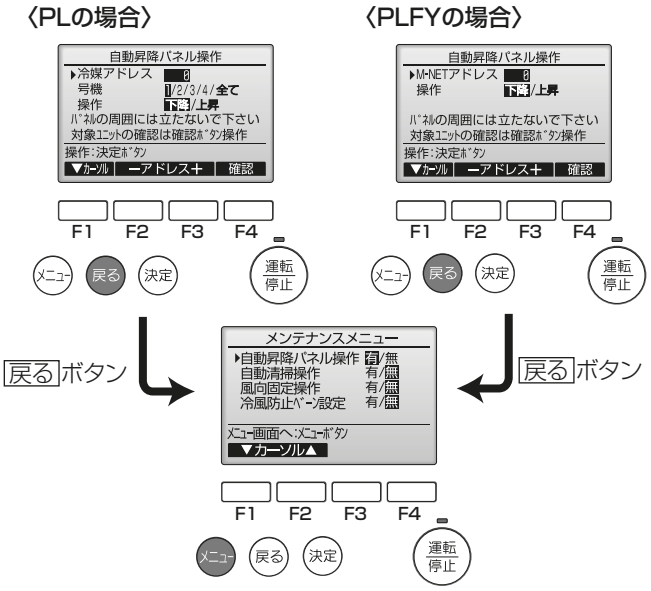
〈PLFY の場合〉
【手順 2】を参考に「M-NET アドレス」を選択し、“上昇”を選択したら [**決定**] ボタンを押します。

お知らせ	**途中で停止させることはできません。** ・上昇中に [**戻る**] ボタンを押すと止まる場合がありますが、すぐには止まりません。

【手順 5】「自動昇降パネル操作」を解除します。

1）**[戻る]** ボタンを押して、メンテナンスメニュー画面にもどります。

2）メンテナンスメニュー画面で **[メニュー]** ボタンを押します。
終了処理を実行し、メインメニューにもどります。



<4> ワイヤードリモコン（PAR-26MA2）からの操作

① ワイヤードリモコン操作上のご注意

- 部屋のレイアウトの変更などにより、ワイヤードリモコンの位置からエアコンが見えない場合は、下降するパネルに人や物が当たり、損傷を与えるおそれがありますので、ワイヤレスリモコン（昇降パネルリモコン（別売））をご使用ください。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- 危険防止のため、必ず昇降動作を確認しながら操作をしてください。
- ワイヤードリモコンが管理しているエアコンが複数ある場合、全てのエアコンのサービスパネルが同時に昇降します。リモコンからの設定によりエアコン個別指定が可能ですが、操作を誤った場合、下降するパネルに人や物が当たり、損傷を与えるおそれがありますので、必ず昇降操作しているエアコンの下には障害となる物を置かないようにし、人も近づかないようにしてください。
- ワイヤードリモコンからの昇降操作時、途中で停止させる場合は、すぐには止まりませんので、必ず昇降操作しているエアコンの下には障害となる物を置かないようにし、人も近づかないようにしてください。

② 一般的な操作

※リモコンが管理している全てのエアコンのサービスパネルを同時に昇降させます。

1）エアコンの運転を、必ず「停止」にしてください。
※「停止」にしないと昇降操作モードに入れません。

⚠ 警告	**エアコンの運転を必ず停止します。**
	●ケガや故障の原因になります。

2）リモコンの **[フィルター]** と **[換気]** ボタンを、同時に 2 秒以上押して、昇降操作モードに入ります。

「昇降操作モード」表示	

3）**[設定温度（▽）]** を押すと、しばらくしてからサービスパネルが下降します。

①	「下降　準備中」表示	交互 準備中
②	「下降中」表示（点滅）	
③	下降終了「停止」表示	

お知らせ	**下降中に [△] ボタンを押すと停止操作となりますが、すぐには止まりません。（最大 8 秒かかります）** ・リモコンに「準備中」が表示されているときは操作が無効となりますので、「下降中」表示（点滅）中に 操作してください。 **工場出荷時は、天井面より 1.3m の下降距離で自動停止します。** ・下降距離を変更したい場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。（1.8m/2.4m/3.1m の設定変更ができます。距離は目安ですので、実際に下降させて確認してください。） ・昇降距離は目安であり、30cm 程度の範囲で変動することがあります。

フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。

・フィルターの自重降下、落下によるけがのおそれあり。

禁止

⚠注意	**必ず昇降動作を確認しながら操作をする。また、エアコンの下には昇降の障害となる物を置かない。人も近づけない。**
	●サービスパネルが人や物に当たり、ケガの原因、物品損傷の原因になります。

※リモコンの位置からエアコンが見えない場合は、ワイヤレスリモコン（昇降パネルリモコン（別売））をご使用ください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

4）フィルターやサービスパネルをはずし、清掃します。（「5. 清掃のしかた（25 ページ）」をご参照ください。）

5）**[設定温度（△）]** を押すと、しばらくしてからサービスパネルが上昇し、収納されます。

①	「下降　準備中」表示	交互 準備中
②	「下降中」表示（点滅）	
③	下降終了「停止」表示	

お知らせ	**上昇中に [▽] ボタンを押すと停止操作となりますが、すぐには止まりません。（最大 8 秒かかります）** ・リモコンに「準備中」が表示されているときは操作が無効となりますので、「上昇中」表示（点滅）中に 操作してください。

フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。

・フィルターの自重降下、落下によるけがのおそれあり。

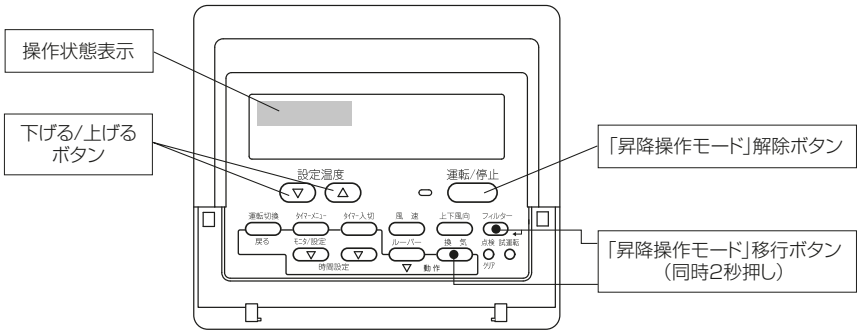
禁止

⚠注意	**必ず昇降動作を確認しながら操作をする。また、エアコンの下には昇降の障害となる物を置かない。人も近づけない。**
	●サービスパネルが人や物に当たり、ケガの原因、物品損傷の原因になります。

※リモコンの位置からエアコンが見えない場合は、ワイヤレスリモコン（昇降パネルリモコン（別売））をご使用ください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

6）**[運転 / 停止]** ボタンを押す。または **[フィルター]** と **[換気]** ボタンを、同時に 2 秒以上押して昇降モードを解除してください。

※昇降モード終了後、約 30 秒間は操作をしないでください。操作しても受け付けません。



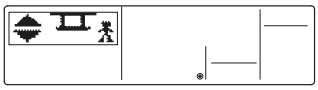
③ エアコン個別指定しての昇降操作

※リモコンが管理しているエアコンのうち、特定のエアコンを指定してサービスパネルを昇降させます。

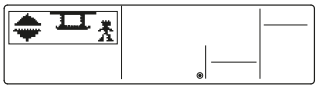
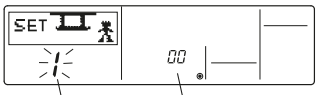
1）エアコンの運転を、必ず「停止」にしてください。
※「停止」にしないと昇降操作モードに入れません。

⚠警告	**エアコンの運転を必ず停止します。**
	●ケガや故障の原因になります。

2）リモコンの **[フィルター]** と **[換気]** ボタンを、同時に 2 秒以上押して、昇降操作モードに入ります。

「昇降操作モード」	

3）**[換気]** ボタンを押すと、しばらくして「個別指定の昇降操作モード」に切換わります。

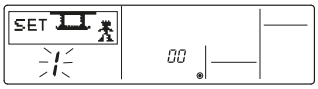
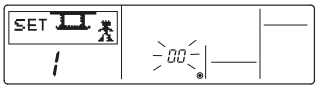
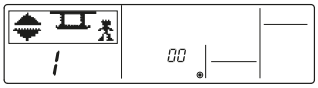
①	「昇降操作モード」	
②	「個別指定の昇降操作モード」	

図②の表示では、現在「冷媒アドレス No.“00”」「号機 No.“1”」のエアコンが選択されている状態です。
操作対象のエアコン No. がわからない場合。→ 4）へ
操作対象のエアコン No. がわかっている場合。→ 5）へ

4）**“号機 No.”または“冷媒アドレス No.”が点滅している状態で [フィルター] ボタンを押す**と、しばらくしてから、**表示対象のエアコンのみ上下風向角度が下吹き**になります。（対象以外のエアコンの風向は水平吹きとなります。）
次項 5）の操作で、“号機 No.”、“冷媒アドレス No.”の切換え、および **[フィルター]** ボタンを押しての上下風向角度により操作対象エアコンをお探しください。

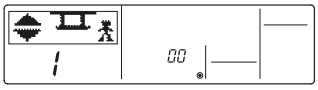
お知らせ	・**[フィルター]** 押しによる対象エアコン確認時に、“ Err ”表示となった場合は、対象の「号機」や「冷媒アドレス」のエアコンが存在しないと考えられます。再度、設定し直してください。

5）“号機 No.”および“冷媒アドレス No.”の選択をしてください。
号機 No. または、冷媒アドレス No. の変更は、**下記①②画面の状態で、[設定温度（▽）（△）] ボタンで変更**できます。
[運転切換] ボタンを押すごとに、下記のように操作内容の対象が切換わります。

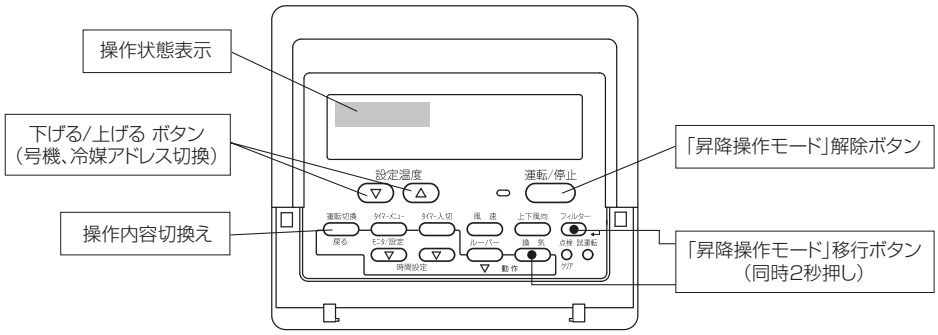
①	「号機 No.」選択表示	
②	「冷媒アドレス No.」選択表示	
③	「昇降操作待ち」表示	

お知らせ	・号機 No. は“1 ～ 4”号機および“0”号機の切換えになります。（0 号機とは、1 ～ 4 号機の全てを対象とします。） ・冷媒アドレスは、“0 ～ 15”アドレスの切換えになります。

6）**[運転切換]** ボタンを押していき、「昇降操作待ち」表示に切換えてください。

「昇降操作待ち」表示	

以降の操作は、「② 一般的な操作（22 ページ）」の　3）～ 6）操作と同じになりますので、そちらの項をご覧ください。

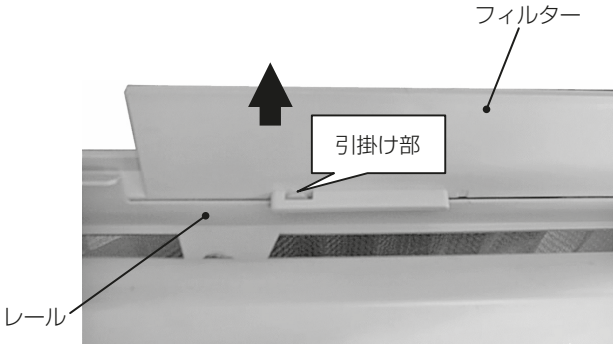


5. 清掃のしかた

1）フィルターの引掛け部を引いて、フィルターを外します。
　※レールを変形させないように取外してください。

2）フィルターのほこりを掃除機で吸取るか、水洗いします。
　※汚れがひどい時は中性洗剤を溶かしたぬるま湯ですすいでください。
　※熱い湯（約 50℃以上）で洗わないでください。
　（変形することがあります。）

3）水洗いした後は、日陰でよく乾かします。
　（乾燥が十分でない場合、寿命低下の要因となります。）
　※直射日光や直接火にあてて乾かさないでください。
　（変形することがあります。）



4）フィルターをサービスパネルに取付けます。（取外しの逆手順）
　※フィルターの向きに注意してください。（180° 反転はできますが、表裏は反転できません。）
　※レールを変形させないように取付けてください。

6. 応急昇降について

ワイヤレスリモコンが使えない時（電池切れ・紛失・故障時等）に、受光部の応急スイッチにより操作することができます。

※高所作業になりますので、十分注意して操作してください。

※下降・上昇の操作方法はワイヤレスリモコンと同じですが、停止される場合は昇降中の動作と逆のボタンを押すことにより停止します。

- 下降中に **[上げる]** ボタンを押すと停止
- 上昇中に **[下げる]** ボタンを押すと停止

※ **[下げる]** ボタン長押しで暖房応急運転
　[上げる] ボタン長押しで冷房応急運転　となります。

7.「故障かな？」と思ったら

サービスを依頼される前にお確かめください。

症　状	原　因	処　置
リモコンを操作してもサービスパネルが動かない。	エアコンを運転していませんか？	エアコンの運転を止め、再操作してください。
	停電ではありませんか？	停電復帰後、再操作してください。
	ワイヤレスリモコンに電池は入っていますか？ または、電池が消耗していませんか？	電池を入れる、または交換してください。
	サービスパネルの上に何か載っていませんか？または、サービスパネルに何か引掛っていませんか？	載っているものをとる、または引掛かりを外してください。
	ワイヤーがたるんでいませんか？	ワイヤーがたるんでいると昇降動作しません。ワイヤーに張力のかかった状態にしてください。
サービスパネルが収納できない。	サービスパネルの上に何か載っていませんか？	載っているものをとってください。
	フィルターがきちんと取付けられていますか？	再下降して、フィルターが確実に取付いているか確認してください。
	サービスパネルにワイヤー先端樹脂部品が４カ所とも取付けられていますか？	再下降して、サービスパネルにワイヤー先端樹脂部品を取付けてください。
サービスパネルが途中で止まる。（それ以上、下がらない）	サービスパネルが自動位置まで降りたためです。（それ以上下げようとすると“ピー、ピー、ピー”と音がします。）	異常ではありません。 ※下降距離の設定を変更したい場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
昇降動作中に音がする。（上昇中または下降中）	ワイヤーが巻かれる、または出される時の音です。	異常ではありません。
サービスパネル収納後「ウーン」音が数秒間鳴る。	パネルの昇降モータのクラッチが作動している音です。（収納を確実に行うための動作です。）	異常ではありません。 ※ただし、最終的に音が止まらない場合はお買い上げの販売店またはサービス会社までご連絡ください。
昇降動作中にサービスパネルが傾く。	各ワイヤーを巻くスピードが多少異なるためです。	異常ではありません。
サービスパネル収納時に数回収納動作を繰り返す。	１回で収納できない。	異常ではありません。 ※ただし、最終的に収納しない状態で停止した場合はお買い上げの販売店またはサービス会社までご連絡ください。
昇降動作途中に停止した後、再度動作させた時に再収納動作（下降・上昇を繰り返す）となる。	昇降距離の検知がされていません。	リモコンで操作し、サービスパネルを１回収納した状態に戻してご使用ください。

※以上のことをお確かめになった上で、なお調子がよくないときは、ご自分で修理しないでお買い上げの販売店にご相談ください。

8. 保証とアフターサービス

<1> 機器予防保全の目安

【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

製品の昇降回数は、1 回／月、12 回／年と仮定しています。
また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- 温度・湿度の高い場所あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
- 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合。
- 振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
- 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
- 頻繁な発停のある場合、運転時間が長い場合。（24 時間空調など）

表 -1.「点検周期」および「保全周期」の一覧表

主要部品名	点検周期	保全周期　**[交換または修理]**
昇降モータ	1 年	昇降回数：120 回

注. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

●定期点検実施の場合でも予期出来ない突発的偶発故障が発生することがあります。
この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

●補修用部品の保有期間について
この製品の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 9 年間となっています。
この期間は経済産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用部品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

<2> アフターサービスご契約のおすすめ

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。
万一の故障の時も早期に発見し適切な処置を行う事が出来ます。

<3> 保証について

【保証期間は、お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して 1 年間です。】

良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客様に実施いただく日常点検（フィルター清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」［主要部品の交換・修理実施周期］は、「表 -1.「点検周期」および「保全周期」の一覧表」を目安にされると便利です。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所

WT08571X04